

一般質問

千葉健一

(民主クラブ)

農村観光環境都市形成の概念

問 市長は、富良野が目指すまちの姿は、農村観光都市であると4年間言い続けその具体化を模索してきたと思うが、市長の就任前から富良野は農業と観光の融合が発展の鍵であることは多くの市民も認識し、その相乗効果により全国に通用するふらのブランドが築かれてきた。

所信で述べているそこに環境を加え、どのようなことを具体化しようとするのか。



賑わう「フラン・マルシェ」

望の持てる農業の確立、後継者の育成、花嫁対策、併せて後継者のいない農業者の第3者継承について調査研究し、持続可能な農業、農村づくりを目指すとあるが第3者継承の考え方は。

答 委譲希望者と継承希望者の適性を見極めた上、北大農学部の指導を受け関係機関、団体と研究会を開催し、双方の意向把握に努め、課題を整理しながら、富良野方式の第3者継承の取り組みを進めていく。

公的住宅の役割は

問 公的住宅の役割としての、「住宅に困窮する」との概念は。

答 現状では、公営住宅以外で収入に見合った家賃の住宅の確保が難しい状態であること。

民間賃貸住宅の実態把握は

問 民間賃貸住宅の実態把握は。

答 本市における民間賃貸住宅のストック戸数・空き家戸数等詳細については未調査のため、公営住宅建て替えの基礎資料として詳細な実態把握を行う必要があると考える。

公営住宅と福祉的住宅の役割分担認識は

問 福祉的住宅の役割認識は。

答 厳しい経済情勢と少子高齢化が進行する中で、公的住宅・民間住宅の区別なく福祉的に配慮をした住宅整備が望まれる。

本市では低額所得者の住まいの確保として、公営住宅の供給

を基本しながらも、建て替えて時にバリアフリー化など安全に配慮した整備を行い、1階部分を高齢者・身障者世帯に対しても優先入居の取り扱いを行つている。

広瀬寛人

(無所属)

農村観光環境都市形成の概念

問 農業政策は政権が変わつても不安定である。市長は夢と希

農業の第3者継承とは

豊かに暮らすまちづくりを目指す基本的な姿勢を表したもの。

- ◇ その他の質問
- ◇ 新たな産業の創出とその組織づくりについて
- ◇ 高卒者の地元企業の就職は進捗状況について
- ◇ 中心市街地活性化基本計画の



市営朝日町団地

ライフサイクルに応じた支援制度は

問 各種支援制度の周知や家賃

答 高齢者用賃貸住宅の建設、若者・新婚カップルのまちなか居住のための家賃制度などをコンパクトなまちづくりの施策として、各自治体の取り組みを参考に検討したい。